



平成26年5月2日

各位

上場会社名 日本トランスシティ株式会社
 代表者 代表取締役社長 小川 謙
 (コード番号 9310)
 問合せ先責任者 経理部長 福村 隆宏
 (TEL 059-353-5211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月9日および平成26年3月25日に公表した平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	87,000	3,700	4,000	2,500	38.86
今回修正予想(B)	88,600	3,600	4,400	2,600	40.42
増減額(B-A)	1,600	△100	400	100	
増減率(%)	1.8	△2.7	10.0	4.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	84,698	3,116	3,980	1,906	29.63

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	81,000	2,500	2,700	△277	△4.31
今回修正予想(B)	81,300	2,600	2,900	△100	△1.55
増減額(B-A)	300	100	200	177	
増減率(%)	0.4	4.0	7.4	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	79,368	2,248	2,690	1,638	25.47

修正の理由

当社グループの通期の業績につきましては、底堅い国内消費に後押しされ、輸入貨物が増加したことや、海外経済の回復基調により、海外における取扱いが堅調に推移したこと、さらには、消費税増税前の駆け込み需要の影響等により第4四半期の業績が予想以上に推移したことから、連結売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。連結営業利益につきましては、新規貨物の取扱いにかかる営業費用の増加等により、前回予想を下回る見込みとなりましたが、連結経常利益につきましては、受取配当金や為替差益等の寄与もあり、前回予想を上回る見込みとなりました。

当社の通期の個別業績につきましては、平成26年3月25日に公表したとおり、関係会社事業損失引当金1,877百万円を特別損失として計上しましたが、第4四半期の業績が予想以上に推移したことから、売上、利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

以上の理由により、連結および個別の通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注)上記に記載した業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上